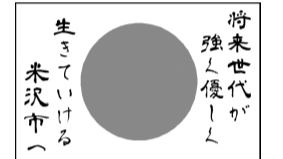




相田みつてる 市政報告だより

平成26年新春版 発行者：相田光照 米沢市塩井町塩野1670番地 Tel&Fax：0238-21-4185・090-9637-1834 HP: http://www.facebook.com/koshi.kai



# 議会だより編集委員長就任

## 議会委員会改選

### 新設『議会広報聴取委員会』は副委員長

新年、あけましておめでとうございます。皆さま方には、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆さまにご支援いただき、議員活動も後半2年目へと入ることができました。これまで遮二無二に活動してきた原動力は、皆さまの叱咤激励のお陰だと感じています。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、前期2年間は、「民生常任委員」と議会議出の「農業委員」として職責を全ういたしました。そして後期2年間は「総務常任委員」の他に、「議会だより編集委員会」委員長、議会基本条例に基づく新設の「議会広報聴取委員会」副委員長の大役を仰せつかり、議会活動に邁進しております。

この両委員会は、市民生活に議会をより身近なもの・開かれたものとしていくためのものです。そこで、始めに手がけたものは、皆さまの元に市報とともに送られてくる議

会だよりの表紙を一新することでした。市内17地区で行われる旬の行事を紹介する『輝く★地域活動』と題し、子供達の笑顔を皆さまにお届けするよういたしました。非常に反響も多く、議会だよりに目を向けていただいていることを実感しています。

そして、新設された議会広報聴取委員会とは、広報聴取活動を主として行う委員会です。その主たるものが、『議会報告』です。議会では、市長から提案された議案に

対して、調査研究を行いながら深い議論を重ねる決意をします。市民の方々の想いをより深く受け止め、市政に反映します。

「今の米沢市では何を指して議論をしているのか？そしてそれを達成するために何が問題なのか？」より深くご理解いただけたと思います。また、多くの方に市政に関心を持っていただき、ご意見をいただくことで、より良い米沢市をつくるために議員個人としてだけでなく議会全体で取り組んでいきます。

議会内でも様々な点で、改善をしていきます。議案に対する各議員の賛否を議会だよりに掲載(2月1日号より)、各委員会質疑模様をインターネット配信(2月6日委員会から)などこれから「開かれた議会」へ大きく舵を切っていきます。

皆さまも議会に厳しい目を向けていただき、一人ひとりが市政へ参加していただきたいと思います。私は、それができる場の提供と報告、そして身近な議員になるべく進んでいく所存です。

この両委員会は、市民生活に議会をより身近なもの・開かれたものとしていくためのものです。そこで、始めに手がけたものは、皆さまの元に市報とともに送られてくる議



多くの市民に読んでもらえるように、全面写真を採用した『よねざわ市議会だより』の表紙(左:旧表紙 右:新表紙)



議会広報聴取委員会副委員長として、米沢市総務部長・課長へ議会報告会市民要望の説明・検討を行う(左から2人目:相田光照)

# 教育環境整備へ

## (仮称)『米沢市教育支援センター』設立へ向けて

3年前、議員に立候補した志は「米沢づくりは、人づくり」のキャッチフレーズ通り、米沢市の教育をより良くしたいとの想いからでありました。どのような職種でも、まちづくりに欠かせないのは人材の育成です。そして、基本となるのが学校と家庭での教育です。

学校教育は、学校で教員が直接関わる面と、環境を整備し、管理運営していく行政ができる間接的な面を併せて行われています。そのことを踏まえ、議員がすべき施策は、環境を整備するための提言をすることです。

現在、子供から青年を取り巻く管轄機関は、複雑化しています。保育園児は国では厚生労働省・米沢市では健康福祉部・ども課管轄、幼稚園児・小中学校の児童生徒は文部科学省・米沢市教育委員会管轄。高校生に至っては、県私立問わず山形県管轄なのです。そして、青年世代は社会教育課、障がい児は社会福祉課が管轄しています。

そのため、同じ米沢市民なのに相談窓口はバラバラであり、市民生活にとってプラスに働いていないとは言えません。これを是正し窓口を一

本化、米沢に住む乳幼児から20〜40歳代青年世代までを一括担当する部署を教育委員会内に(仮称)『米沢市教育支援センター』として設立することを提言しています。

この提案には、現存している高校・青年世代の引きこもり状況調査と設立までの費用の試算、必要な職員の確保など時間を要するものであります。しかし、市長や教育長などにも必要性を認識していることから、来年度予算において不登校・発達障がい児担当の職員を一括して教育委員会で採用する体制へ移行することが決まりました。

一步一歩ではありません

が、動き出した提言の形に設立すべく、自分の袖づくり。県内初の『教育支援センター』を米沢市として今後とも政策提言してまいります。

インターネットからも活動報告が見られます！

「紙面以外でも活動の様子が見てみたい」という要望がありましたので『フェイスブック』で日々の活動を掲載いたしております。閲覧方法は、インターネットでフェイスブックのページへ。登録は簡単。完了し「友達検索」という欄にて『相田光照』を探していただくと、簡単に日々の活動をご覧頂けます。是非、ご活用していただき、活動の様子をご覧ください！

## 相田光照一般質問要旨

- 【平成23年6月定例会】
  - 1 心と身体を育成する教育の推進について
  - 2 中学校給食について
- 【平成23年12月定例会】
 新『米沢ブランド』の提言  
 ～ABC+D・Eの価値と未来について～  
 (1)ABC+D(Dessert:さくらんぼ)のブランド化  
 (2)ABC+E(有機EL)のブランド化
- 【平成24年3月定例会】
 青少年を育成する環境と教育の推進について  
 (1)「子ども・若者育成支援推進法」を受けての現状  
 (2)「がっつりしない子ども」を育てる施策について
- 【平成24年6月定例会】
 1 中心市街地活性化について  
 2 高齢者にやさしい市役所運営について
- 【平成24年12月定例会】
 幼稚園と保育所等の窓口の一本化について  
 (1)幼稚園教育に対する取り組みの実態について  
 (2)子ども・子育て新システムにおける幼稚園の位置づけ  
 (3)幼稚園教育にかかわる行政のあるべき姿とは  
 (4)窓口の一本化を実現する手法は
- 【平成25年3月定例会】
 伝統を重んじ新しきことに挑戦している若者たちの取り組みに対する支援について  
 (1)「生産者組合寒中野菜部会」、「米沢織維協同組合連合会」への支援の現状について  
 (2)各分野の「ものづくり米沢」を牽引する若者たちを「広報よねざわ」にて特集してはどうか。
- 【平成25年6月定例会】
 修学困難な子ども達への教育的支援について  
 (1)修学を困難とする児童・生徒数について  
 (2)修学困難を補う取り組みについて  
 (3)スクールガイダンスプロジェクトの今後のあり方について  
 (4)米沢市適応指導教室の位置づけについて
- 【平成25年12月定例会】
 1 公益の財産としての天元台に対する本市の考え方について  
 2 「スクールガイダンスプロジェクト」の見直しに向けての進捗状況について

※一般質問の様子は『米沢市議会』ホームページより、ご覧いただけます



授業の一環として傍聴に来た西部小学校6年生を前に一般質問の様子(中心:相田光照)

# まちなか図書館、いよいよ着工

## 当初より6億円+α増額 総額約28億円!?



着工開始となった新文化複合施設イメージパース (平成27年9月完成予定)

### 建設費増額へ

市民意見と議員採決を二分した新文化複合施設(まちなか図書館)建設費が、平成25年3月議会で可決されました。上程された金額は、22億円です。

私は一貫して、この議案に対して反対の立場を取ってきました。決して、図書館建設を否定するものではありません。当初計画通り、ポポロビル跡地に建てるというのであ

れば、反対するものではないのです。

しかし、約10億円かけて買収・造成した『まちなかの広場』を解体してまでつくること、市民・議会に十分な説明がなされて

いないこと、裁判中のポポロビルの将来像が不透明なこと。なにより目的が、中心市街地の活性化ではなく、図書館を建設すればよいとする考え方が、反対した大きな理由であります。

また、「よほどのことがない限り、増額はしない」として22億円の予算も増額する事態となりました。6月議会においては、東日本大震災の復興に伴う公共事業増大や消費税増税を見込んだ人件費・資材費の高騰により、約4億3000万円の増額(採決II反対)。そして、2月5日に開かれる臨時議会において、広場跡地中にデパート浄化槽とみられる重厚なコンク

リート槽が発見され、これを破壊しながら杭打ちをしていくための重機レンタル使用料+工期延長分の建設人件費等で約1億6000万円の増額を議会に上程されました。

### 議会と行政

これらのことは、私を含めて様々な議員が各委員会において幾度となく指摘をしてきました。しかし、このような事態になってしまったことに、私は憤りを覚えます。

また、「よほどのことがない限り、増額はしない」として22億円の予算も増額する事態となりました。6月議会においては、東日本大震災の復興に伴う公共事業増大や消費税増税を見込んだ人件費・資材費の高騰により、約4億3000万円の増額(採決II反対)。そして、2月5日に開かれる臨時議会において、広場跡地中にデパート浄化槽とみられる重厚なコンク

リート槽が発見され、これを破壊しながら杭打ちをしていくための重機レンタル使用料+工期延長分の建設人件費等で約1億6000万円の増額を議会に上程されました。

### 判断

「では、おまえはどうしたい?」と聞かれたらこう答えます。「限られた採決だとしても、可決は可決であり、民意を反映した結果です。」

「では、おまえはどうしたい?」と聞かれたらこう答えます。「限られた採決だとしても、可決は可決であり、民意を反映した結果です。」

「では、おまえはどうしたい?」と聞かれたらこう答えます。「限られた採決だとしても、可決は可決であり、民意を反映した結果です。」

## 議員は常に勤勉であれ

同期勉強会・林塾での学び

市議会初当選組は、「文喜会」という同期会を発足し、定例会後に必ず研修会を催しております。

その研修会の一環で、甚大な被害を受けた被災地である岩手県釜石市に赴きました。防災教育先進地として、『釜石の奇跡』と呼ばれる小中学生の津波避難訓練を震災前から実施している自治体です。もちろん、マスク



東日本大震災の爪跡が未だに残っている、岩手県釜石市輪住地区防災センターの視察(中央:相田光昭)

政治を志したときから、政治に対する意識の高揚を図ってきました。そして、議員になってからは、その想いはより強くなっていきました。

そこで、昨年度より度から「林英臣政経塾」に入塾して議員としての学びを得てきました。一年間の塾生期間を経て、現在では塾生として塾の運営に関わっています。

林英臣先生は、松下政経塾一期生であり、野田前総理大臣とは同期の国士であります。この塾の主たる教えは、政治を志す者として「心と精神を鍛える」こと、「日本史学と正確な国家観を持つ」こと、そして「礼節を重んじる」ことです。



一年間の学びを終え、林英臣塾長(中央)と東北地区青年議員と共に新たな年の飛躍を誓約(上段右2人目:相田光昭)

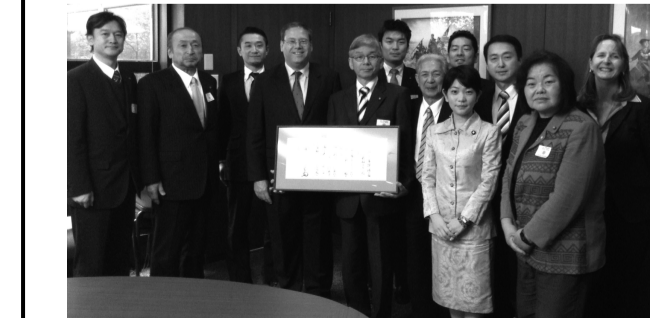
公約を掲げて議員になった以上、将来に向けて公約を履行していきたいと思えます。この一年、考えを提言し形を成していくのが議員の仕事だと強く感じた一年でした。

## 待っています! ケネディ大使

昨年12月17日、我が会派「一新会」と「自民クラブ」の有志メンバーで、新任されたキャロライン・ケネディ米国駐日大使の米沢訪問を願う熱意を伝え、使館に参上してきました。

ケネディ元大統領が、上杉鷹山公を尊敬していたことは、多くの市民が知るところであります。当日は、大使が公務のため不在でしたが、大使に次ぐカート・トン首席公使にお目にかかることができました。

へ来ていただきました。



在日米国大使館カート・トン首席公使へ上杉鷹山公直筆の「伝国の辞」を送ってきた一新会・自民クラブのメンバー(左から3人目:相田光昭 左から4人目:トン公使)

## 熱思聚

2014.01.31



### 「名前を考える」

▼昨年9月末に、我が家に3人目の子供となる次男が誕生した。私も妻も、女の子が誕生するのではないかと感じていた。名前は決定していなかったが、何となく女の子のイメージをしており、男の子の名前は正直考えていなかった。

▼この考え方は、議員になってから持てるようになった。多くの人の話しに耳を傾け、思いを受け取り、行動に移していく議員という仕事。その思いや意見こそが、みなさんの『光』である。それを自分の中でしっかりと噛み砕き、自分の物として実行していくことが、光を照らすことになるのではないだろうか。

▼より多くの光を受け取るためには、常にその鏡を磨き続ける必要がある。鏡そのものも大きな物にしていかなければならないと考えている。『努力は人を裏切らない』の格言どおり、日々努力し成長し続けることで、本当の意味で「光」になれると信じている。

▼「光」という名には、「光を照らす人間」との思いが込められているはずだ。しかし、自分が光を照らす人間なのかと問えば、間違いなく、そんな人間にはなっていない。光を照らすだけの灯火も小さく、まだまだ未熟である。

▼ただ、光を照らすためには、自らが発光しなくてもできる方法もある。それは、自らが鏡となり、周囲の人々の光を受け取り、照らすことである。

▼この考え方は、議員になってから持てるようになった。多くの人の話しに耳を傾け、思いを受け取り、行動に移していく議員という仕事。その思いや意見こそが、みなさんの『光』である。それを自分の中でしっかりと噛み砕き、自分の物として実行していくことが、光を照らすことになるのではないだろうか。